

宮城浩藏

みやぎひろ蔵

法學者。

嘉永二年一月八日出羽國東村山郡大童生れ、

明治二十六年二月十五日（八五の一九三）。舊姓武田。明治二年兵學修業

のため上京、翌年大童藩の貢進生となる。四年大學南校に入るも、六

年司法省明法寮に轉じてボアソナーードの師事した。九年卒業、尋いで岸

本辰雄とフランスに留學、滞在中西園寺公望の知遇を得て十二年小歸

朝し、岸本、矢代操と謀つて明治法律學校を創設、自ら刑法、治罪法

を講じた。二十二年衆議院議員。遺稿『刑法正義』は發行部數二萬を

超えたといふ。

他に『日本刑法論』(一・明治十四年二月敎告社)等。

